

## 第6回 エックス線被ばく事故検討WG 議事概要

1. 開催日時：2021年9月17日（金） 午前9時00分から午前10時00分
2. 開催場所：Zoomを用いたオンライン開催
3. 出席者：（順不同、敬称略）  
飯本武志、古渡意彦、山口一郎、小嶋光明、小田啓二、川島恒憲、中村美和、福士政広、笠井 篤、辻本 忠、橋本 周、高橋賢臣、秋吉優史、阪間 稔
4. 紹介資料  
資料1 医療現場におけるエックス線作業主任者養成の現状について  
資料2 学校教育現場で使用されるクルックス管の安全管理について
5. 議事
  - (1) エックス線作業主任者養成の観点からの課題（意見発表）  
資料1に基づき、福士委員より医療現場におけるエックス線作業主任者養成の観点から以下の意見発表があった。
    - エックス線作業主任者の養成課程から考慮し、作業主任者として指定された人員の実技教育の重要性について指摘があった。
    - 委員から以下の意見、コメントがあった。
      - ✓ 低エネルギーエックス線の特性の理解が作業主任者にも十分ではないケースが見受けられることが問題である。
      - ✓ エックス線作業主任者についてはペーパーテスト受験で資格取得できる資格取得体系に課題がある。
      - ✓ 大学の養成課程としての教育での実習に関して、資格取得に必要なカリキュラムで実技もルール化されている一方で、免除される例もあり、養成施設間の格差について指摘があった。
  - (2) 学校教育現場で使用されるクルックス管の安全管理の観点からの検討（意見発表）  
資料2に基づき、秋吉委員より学校教育現場で使用されるクルックス管の安全管理について意見発表があった。
    - 低エネルギー光子の発生を伴う装置の安全確保について実践的な試み（線量計測、運用方法の検討及び線量評価・ガイドライン）の紹介があった。
    - クルックス管からのエックス線管理における問題として、1）国際的に定められている公衆被ばくに関する年線量限度のレベルと比較しての実務管理上の理解、2）法体系等におけるエックス線装置の定義の解釈、及び3）実効線量の評価、等が簡単ではないという指摘があった。
    - 委員から以下の意見、コメントがあった。
      - ✓ 低エネルギーエックス線の測定について質問があり、半導体検出器を用いて波高分布を得ることで精密に測定できる点回答があった。
      - ✓ 低エネルギーエックス線の場合、空間分布測定も技術的に難しい点のコメントがあり、秋吉委員がプロジェクトで取り組んでいる例について紹介があった。
  - (3) その他
    - WGメンバーに配布していた第5回WGの議事要旨を確認し、承認を得た。

- WGでの配布資料については原則公開とするが、その公開時期等については事務局で案を作成した後、資料を作成した委員と相談して決め、場合によっては委員会に諮ることとした。
- 第7回WGは9月28日（火）9-10時の開催を予定している。
- 第7回は、小嶋委員と阪間委員より関連情報の提供をお願いする。

以上